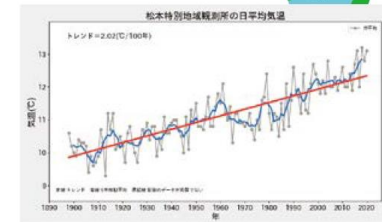


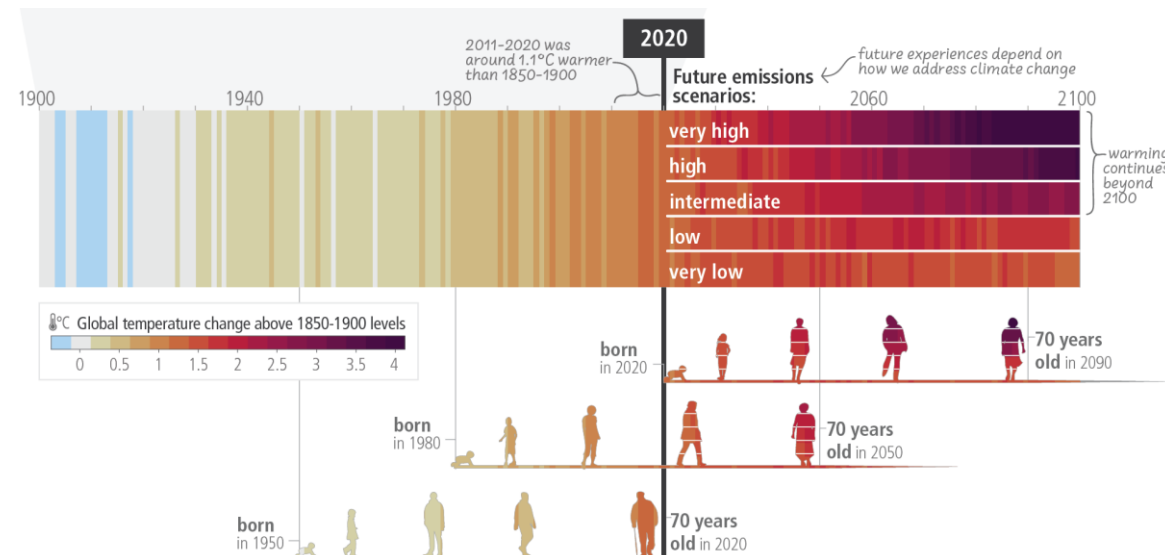
気候わかもの会議まつもと Young Climate Assembly Matsumoto、略称Y-CAM 参加者募集について



まつもとゼロカーボン実現計画（概要版）

気候市民会議まつもと とは？

- 近年、欧州を中心に世界で無作為抽出型の気候市民会議（Climate Assembly）が広がっています。
- 松本市で全国18例目、長野県では初の「気候市民会議まつもと」（Climate Assembly Matsumoto、CAM）を2024年9月から開催します。気候変動という世界的な課題に対し、市民自らが行動すべき事柄を検討し、アクションプラン（市民の行動計画）としてまとめ、松本市民および松本市へ提言します。



上の図は、IPCC（世界の専門家組織する気候変動に関する政府間パネル）が2023年に発表した報告書の一部。産業革命・近代化以後の世界で大量に排出された温室効果ガスによって、1900年頃と比べて地球の平均気温は1.1°C上昇しました（2020年）。このまま対策が進まなければ、平均気温の上昇は3°Cとも4°Cとも言われています。若者世代は、今後さらに温暖化の進んだ世界を生きることになる可能性があります。

IPCC AR6 Synthesis Report: Climate Change 2023 Figure SPM.1: (c)



学ぶ



対話する



共に取り組む

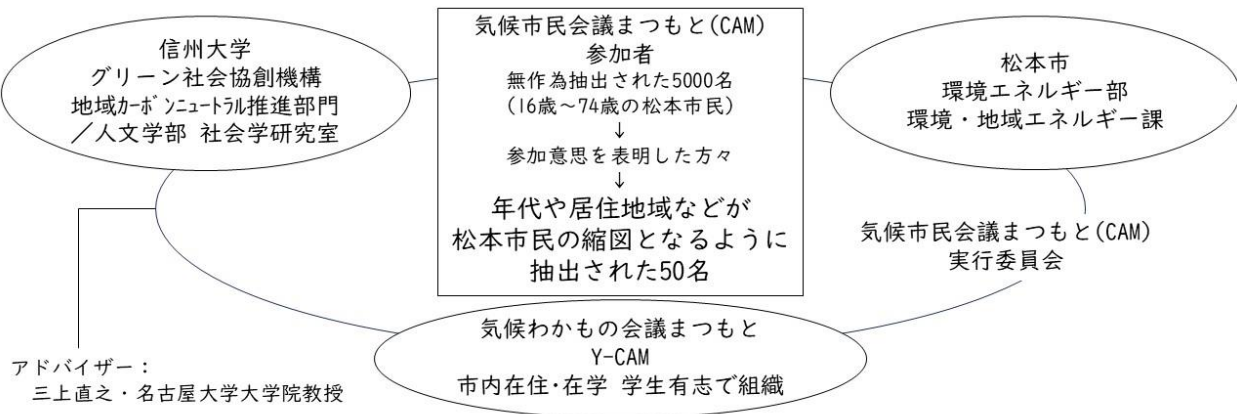
気候市民会議とは？

現代の複雑化した社会問題の解決方法を探求するため、くじ引きのような方法によって社会の縮図となる人びとが「熟議（じゅくぎ）」を行い、その結果を政策決定に用いる市民会議は、1970年代以降世界各地で行われてきました。

2019年以降、欧州各地を中心に「気候市民会議Climate Assembly」と呼ばれる市民会議が、国と自治体の双方で行われるようになっていきます。

松本市内に在住・在学する若年層の有志によって、自由な発想で気候市民会議まつもとの活動をサポートする「気候わかもの会議まつもと」の参加者を募集します。

気候わかもの会議まつもと(Y-CAM)の活動



- 情報提供者：
気候科学・気候変動対策に関する専門家、気候変動政策に関わる行政機関、産業界、市民団体等を想定
- 協力・連携：
エネットまつもと（自然エネルギーネットまつもと）
松本平ゼロカーボン・コンソーシアム
くらしふと信州（長野県ゼロカーボン社会共創プラットフォーム） など
- 学術的助言：
科研費基盤研究(A)「気候民主主義の日本における可能性と課題に関する研究」（研究代表者・三上直之）

図：気候市民会議まつもと（CAM）の運営体制

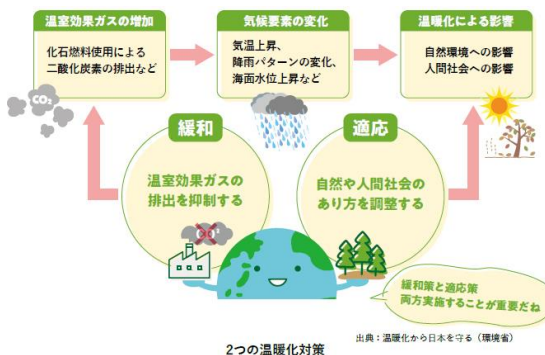
- ①くじ引きのような方法で抽出された50名の参加者でつくる「気候市民会議まつもと(CAM)」と共に活動します。
- ②学びと対話を深めるため、専門家と共に情報収集や資料作成などに取り組みます。CAM以外にも、Y-CAM独自の学びの機会があります。
- ③参加者の市民アクションプラン案の検討を支援します。
- ④この他、自由な観点から活動することができます。

※松本市内在住・在学の学生・生徒であればどなたでも参加できます。
気候変動や脱炭素社会に関する知識の有無は問いません。
全てのCAMに参加できなくとも、Y-CAMに参加することは可能です。



私たちは何を知り、考え、行動に移すべきだろうか、共に経験してみませんか。

開催日程（予定）	テーマ
第1回（9/7 土）	気候変動の現状 （情報提供者：江守正多・東京大学教授、 浜田崇・長野県環境保全研究所主任研究員）
第2回（9/28 土）	気候変動対策の取り組み （情報提供者：松本市、長野県等）
第3回（10/26 土）	気候変動対策の検討①（情報提供者：調整中）
第4回（11/16 土）	気候返答対策の検討②（情報提供者：調整中）
第5回（12/14 土）	市民アクションプランの検討①
第6回（1/25 土）	市民アクションプランの検討②



ご参加申込は
こちらへ→



Y-CAMに関するお問い合わせ先：
信州大学人文学部社会学研究室
准教授 茅野恒秀
chino@shinshu-u.ac.jp